

思い出すまに (※1)中第 42 回卒 馬 場 寛 (※2)

4月に入り風はまだ少々冷たい。日差しはもう春、躍動への期待を秘めた明るさがある。

小生が旧制の相馬中学に入学したのは昭和 14 年の春、その年の入試は例年に比べて、なかなかの難関であった。志願者が定員の 2 倍を越えていた。そのため、その翌年には定員が 50 名増募され、2 百名になっている。

北は常磐線の亘理、南は原町の周辺から列車で通学していた。クラスは 50 名から成る 3 クラス、それぞれ甲組、乙組、丙組と呼んだ。小生は丙組に入った。

担任の田村 (※3) 先生 (数学担当) がクラス編成について、「入学試験の筆記試験で最高得点者が丙組、2 位が乙組、3 位が甲組、そして 4 位が甲組、5 位が乙組・・・」と。また「各組の最高得点者が正級長、2 位が副級長に任命されている。」と説明された。

1 年丙組の正級長は小生と同じ中村第一小学校から入学した渡部敬太郎 (※4) 君で、中学 1 年の後半、陸軍幼年学校の入試に合格し、陸軍士官学校、陸軍大学に進み、やがて※統合幕僚会議議長という軍の最高位まで登りつめた文武両道の秀才であった。

入学して 1 週間は、放課後、5 年生の指導で応援歌の練習が行なわれた。1 年生と 5 年生では 4 歳の年齢差があり、5 年生は見るからに怖い存在であった。

5 月 7 日は創立記念日、この日には、例年、長友運動場 (当時、一周 4 百メートルの公認トラック) で運動会が行なわれた。最も人気を呼んだ種目は、相馬地方 (原町、小高を含む) の小学校尋常科 6 年生と高等科 2 年生による 8 百メートル継走であり、優勝校にはそれぞれ主催校である相馬中学から優勝旗が贈られた。優勝チームは優勝旗を先頭にトラックを一周し、やんやの喝采を受けた。

また、学校行事としては校内弁論大会があった。1 年から 5 年まで出場者が多数おり、終日、講堂で行なわれた。5 年生の「行け、大陸へ」と題する熱弁や同じクラスの前 洋 (※5) 君のスピーチが記憶に残っている。

授業に関して、まず思い出されるのは 2 年生になって英作文を担当された山家 保 (※6) 先生である。毎時間、教科書の 5 つの模範文を暗唱して授業に出る宿題があり、生徒の怠慢に対しては罰として「バンザイ」の姿勢を求めた。「きびしさ」もあり「楽しさ」もある授業であった。

3、4 年時代に英文法を担当して頂いた山川喜久男 (※7) 先生は関係代名詞、関係副詞、仮定法などを例文をあげて詳細に根気よく説明をして頂いた。(先生は後日、わが国でも有数の英文法学者になられている。)

4年生のクラス担任をして頂いた熊田信夫^(※8)先生の世界史も要点を整理して板書して頂き理解し易い授業であった。

最終学年で英語を担当して頂いた加藤善應^(※9)先生も忘れることができない。夏休みの前後の頃だったと記憶していますが、始業前およそ1時間、作家ジョゼフ・コンラッドの海洋小説『青春』をプリントして頂き、講義形式で読んで頂いたことが楽しい思い出となっている。作者はポーランドに生まれ、水夫から、やがてイギリス商船の船長となり、一転して、イギリスに帰化、作家となり、30年間に30冊の小説を英語で世に出している。加藤先生は高等商船で学ばれたとか、作者と一脈あい通じるものがあったのかも知れない。

最後に、相馬高等女学校（現相馬東高等学校の前身）について少々触れてみたい。

小生が相馬中学に在学していた当時は常磐線の沿線（県内）には高等女学校と言えば、わずかに南の磐城高女と北の相馬高女の2校に過ぎなかった。従って原町以南、富岡以北（旧相馬藩領）から入学した相女生の多くが校内にあった寄宿舎を利用していたようです。

相女の校舎は道路をはさんで相中のすぐ向いに位置していたが、あの時代には近くて遠い存在でした。登下校はもちろん中学生が女学生と言葉をかわしている光景はほとんど見られませんでした。列車通学生は相中生、相女生ともかなり数多くいましたが、それぞれ異なる車輦に乗っていたようです。言わば、うるおいの無い乾いた時代であったと言えるでしょう。

※統合幕僚会議議長には渡部敬太郎氏の外に現馬城会会長寺島泰三^(※10)氏もその要職につかれています。

(※1) 『紅の旗 創立百周年記念誌』 〈2009（平成21）年1月発行〉「思い出の記〈ああ、我が青春の日々よ〉」。

(※2) 中村出身。昭和19（1944）年卒。東北大。

(※3) 田村三郎。相中教諭：昭和12（1937）年～昭和15（1940）年、数学。

(※4) 中村出身。陸士。

(※5) 中村出身。東北大。馬城かわら版 第100号「中学時代」。

(※6) 相中教諭：昭和14（1939）年～昭和21（1946）年、英語。

(※7) 相中教諭：昭和15（1940）年～昭和17（1942）年、英語。一橋大学名誉教授。「新英和中辞典」（研究社）編集委員の一人。

(※8) 相中教諭：昭和5（1930）年～昭和18（1943）年、歴史。

(※9) 相中・相高教諭：昭和16（1941）年～昭和29（1954）年、英語・教練。

(※10) 福田出身。高普第4回、昭和27（1952）年卒。東北大。日本郷友連盟会長・靖国神社崇敬者総代・元統合幕僚会議議長。第9代馬城会長、平成17（2005）年～20（2008）年。

馬城かわら版 第127号（1）「相馬中学・相馬高校の思い出」

（2）「創立百周年 及び 校歌制定百周年記念式典記念事業実行委員長 挨拶」